

# 街を「体験」に変える。 参加型ローカルマップ・プラットフォーム 「MeguroCal」

## ユーザーは区民および訪問者

目黒区が挙げている「魅力の可視化」「多様な情報源の利活用」「区民視点の発信」といった課題に対して、区民が観光ルートを自ら構築し、訪街者に対して提案するローカルマップ・プラットフォーム「MeguroCal」を提案する。



有名なスポットへの「点」での訪問で終わらせず、区民だけが知る路地や名店、風景を繋ぎ合わせたストーリーのあるルートを「線」として可視化する。



## 「埋もれた観光資源」×「人流ポテンシャル」×「高いWalkability」

- 魅力と認知のギャップ：アンケート調査では区民・来街者が認める「緑」や「商業」の魅力があるにも関わらず、国際的な観光認知度が低い状況にある。
- 都市構造のポテンシャル：人流データ分析に基づくと、目黒区は「暮らしに適したエリア」かつ「区外からの訪問よりも区内からの外出が多いエリア」に分類される。一方で、区内全域が高い「歩きやすさ (Walkability)」を備えた都市構造であり、各地の観光資源と合わせて「歩く楽しさ」を提供できる「観光に適した街」のポテンシャルがある街と言える。
- 回遊型への変革：以上より、多様な魅力を区民発で可視化するプラットフォームを提供することで、通過する街から「回遊・滞在する街」へと変革できる確実な素地があると考えられる。

## デザイン思考による価値設計

デザイン思考では完成品を待つのではなく、プロトタイピングにより、ユーザーからの反応を得て、改善点を素早く発見。本プロジェクトでは目黒区の区民や行政職員などの多様な主体が実際にプラットフォームを試しながら、機能やコンテンツの改善を繰り返すアプローチにより価値設計を実施。

スモールスタートで成功モデルを作り、全域へ拡張する段階的なプロセス



MeguroCal  
プロトタイプ



WHAT

WHY

HOW